

# verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪  
発行責任者 総支配人 守田 昌史  
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4  
Tel 027-371-6610 / Fax027-371-6613  
E-mail [minowa@e-verde.co.jp](mailto:minowa@e-verde.co.jp)  
URL <http://www.e-verde.co.jp>

(ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください。)

# 3月の出来事

色とりどりの春の花を花屋さんで買ってくと、段ボールに入ったままの花を見て「まあキレイね」と、どよめく皆さま。

「見せて、見せて」とせがまれ、始まったのは名前当てクイズ。お花の知識セッションに湧き、花の登場だけで皆さまが生き生きとお話されて嬉しくなりました。

「植えたらまた綺麗ですよ」と言うと「私は薔薇がいいな」とリクエストが。季節のお花を楽しめるように、ベルジガーデニングプランナーのチームを結成し、継続的に活動出来たらいいなと思います。



## 寄せ植え



寄せ植えは、一つの鉢の中にさまざまな植物を植え、その華やかさや調和を楽しむガーデニングのことです。春の寄せ植えに切り替える時期は、厳寒期が過ぎて暖かくなり始める3月が最適ですので、暖かな陽気の日中庭で皆さまに、春の寄せ植えを楽しんでいただきました。春の匂いのする風が時折肌をかすめると、それだけで幸福な気分になりました。

## WBC 優勝祝い

箕輪の皆さまも毎試合応援していました。日本国民全員が観ていたのではないかと思うほど、WBCは夢中にさせてくれましたね。昭和の時代には巨人・大鵬・卵焼きで、野球はどここの家でも観ていたスポーツでした。近年の印象ではサッカーに人気を押されたようにも感じていましたが、大谷人気だけではない“全員野球”に、野球少年だった大人たちも目を輝かせ、テレビ越しに「よし！いいぞ！よく押さえた！」と歓喜していました。



新聞の一面には選手達の歓喜する姿。各地では様々なお祝いがなされていますが、箕輪でもお祝いの記事を満開の桜の花であしらい、皆さまで「おめでとう」のメッセージボードを作りました。中庭のソメイヨシノも満開に咲き、コロナごと払拭されたような、2アウト逆転満塁ホームランのような、爽快感を与えてくれたWBCに「ありがとう」ワクワクをありがとう。

# 春の塗り絵

塗り絵は、紙に描かれた絵柄の形を認識し、自らで色を考えます。それから、考えた色と同色の色鉛筆を手に取り、指先の筋肉を使って細かく色を塗ります。考えることで脳の活性化が期待できるのはもちろんですが、色鉛筆をつかむ、握る、線に沿って塗るなど、手の指先を動かす、握る、と手指のリハビリとして活用されています。塗り終わったあとの達成感や、作品の他者からの評価など、やりがいを持つこともできます。



桜の塗り絵をしました。桜はピンクと決めつけない、まさにアートな作品が誕生します。塗り方、色彩、同じ絵から様々に生まれる個性。「こんな風に塗ってみたいの」と塗り絵の教科書を見せてくれました。人生の先輩方の向上心、勉強になります。

## ベルジ箕輪桜

箕輪にはソメイヨシノの樹木があるので、毎年桜の季節が楽しみ。青空を背景に薄紅色の桜を眺めると、雪解けに覗く露の臺を見つけた時のような気持ちになります。「春っていいよね」口を揃えたように言葉が聞こえます。「いやあ～立派だ」と唸る笑顔にまた来年も、約束。



ご入居者様のお部屋からも、立派な桜が愛でることが出来ます。窓辺に咲き誇った桜は、まるで絵画のよう。蕾がほころび、花が次々に開き始める様は、ずっと見ていられるこの季節ならではの特別な時間。柔らかな朝日が差し込む窓辺のカーテンを開け、満開の桜に朝の挨拶。幸福な一日が約束された気持ちになります。

そんな桜の枝にウグイスが春の歌を歌いに来てくれました。ウグイスは春告鳥、報春鳥などの異名を持つ、春を告げる鳥で、日本三鳴鳥の一種で、鳴き声がとても美しいと言われています。

また、ウグイスはとても縁起の良い鳥であり、姿は見れなくとも「ホーホケキョ」の鳴き声を聞くだけでも、幸運が訪れる前触れといわれています。ウグイスに出会えたなら、新しい季節の、新しいことを始める勇気になるかもしれませんね。



# みのわ情報

## ◆ 行事食(春分の日)

春分の日、ぼたもち。子供の頃はお彼岸のぼた餅の意味が分からなく、まだ手もかじかむ季節、朝日が昇る前から母が水につけた小豆を煮、もち米を炊き、炊きたてのごはんを小判型に手で整え、餡で包み、それを山積みを作っていました。有難くも思わず、ただ文句をいいながら食べていましたが、餡子が艶々に輝き、ふわふわで柔らかな、出来立ての牡丹餅を食べていた贅沢を時が経て思う昨今です。



## ◆ 介護技術コンテスト結果

社会福祉法人ほたか会 介護研修センター主催 令和4年度 介護技術コンテスト(ケアコン)が開催されました。今回表彰は逃しましたが、参加したことで気づいた事や、他者の技術を見て得たことを今後生かしていきたいと、参加した者、見守った職員にとっても、大変有意義な経験となりました。

## ◆ 春の健康診断

春といえば健康診断シーズンです。健康状態等の把握に努め、重症化に至る前段階で支援することや生活機能の低下等を防止する意味があり、健康の保持増進、生活の質の維持及び向上を図ることを目的としています。

# 編集後記

WBC のメキシコ戦に湧き、迎えた決勝アメリカ戦。メジャーリーガーばかりの強敵に挑んだ侍たち。日本国民の多くが応援し、海外銀行の連鎖的な銀行破綻で経済的に沈んだムードまでも払拭してくれたような、世界が熱気に溢れた特別なイベントでした。テレビに映し出された、人、人、人。ソーシャルディスタンスなんて何処へ。マスク無しでの大声援、世界が元に戻ったと思いました。野球は何十年振りの、にわかでも興奮と感動する試合。ノーバー選手が画面に現れると「ヌーーーー」とヌーイング、からのペッパーミル。インタビューで何度も耳にした「全員野球」支えがあるから頑張れる、あの人頑張っているから自分も頑張れる。チームの為に役立ちたいと思える、チームプレイというもの、信じ合えることの素晴らしさを魅せていただきました。心が熱くなる、それがスポーツの一番の魅力かもしれない、チームプレイを武器にした日本野球に、職場での自分を重ねる。あの人がかしてくるのではなく、自分がどんな仕事をしたらチカラになるのか考える。そうすると、ワクワクが止まらない。常にファインプレイが出来るような気持ちでいたい。ペッパーミルのパフォーマンスを生み出す自分でありたい。